

2023年度卒業生 学科・業種別就職状況

(単位%)

	農・林・漁・鉱・建設	製造	卸売	小売	金融	運輸・不動産	教育・公務	マスコミ	情報通信	他の業種
現代経済	1.9	7.2	11.1	9.7	12.1	4.8	16.9	1.4	15.0	19.9
生活環境経済	3.8	12.4	10.5	5.2	10.0	8.1	15.2	1.0	9.0	24.8
国際経済	2.7	5.3	12.2	6.9	8.5	10.1	12.8	3.2	12.2	26.1
法律	3.7	7.4	7.8	6.7	10.0	9.6	22.0	2.0	11.3	19.5
政治	5.6	8.7	10.3	7.1	6.3	9.5	18.3	3.2	10.3	20.7
経営	2.2	11.5	10.0	6.9	9.7	6.5	6.9	2.5	18.4	25.4
ビジネスデザイン	5.5	12.9	7.4	5.5	6.7	8.0	3.7	3.1	20.2	27.0
マーケティング	2.1	10.6	12.4	10.0	8.7	6.9	5.3	4.7	16.1	23.2
会計	3.0	6.0	5.4	4.8	7.8	4.8	4.2	22.3	33.9	
日本文学文化	1.0	8.8	8.8	9.8	2.0	4.9	21.6	2.9	18.6	21.6
英語英米文	1.7	2.5	5.0	5.9	4.2	6.7	12.6	3.4	13.4	44.6
哲学	3.8	9.6	7.7	15.4	3.8	9.6	7.7	0.0	15.4	27.0
歴史	1.8	6.4	6.4	5.5	9.2	9.2	23.9	0.9	9.2	27.5
環境地理	2.3	6.8	2.3	4.5	15.9	22.7	2.3	11.4	29.5	
ジャーナリズム	2.8	8.4	10.3	9.3	1.9	4.7	23.4	12.1	22.4	
ネットワーク情報	1.8	1.8	1.8	4.7	5.3	4.1	58.6	14.2		
心理	1.9	9.6	3.8	13.5	3.8	5.8	13.5	1.9	21.2	25.0
社会	5.4	7.0	7.0	9.3	7.0	9.3	16.3	2.3	12.4	24.0
日本語	1.9	13.5	0.0	13.5	0.0	1.9	21.2	1.9	17.3	28.8
異文化コミュ	1.7	5.1	14.5	6.0	5.1	13.7	2.6	2.6	11.1	37.6

23年度就職希望者就職率 98.2%

前年度比0.9ポイント増 過去20年で最高

今春本学を卒業した学生のうち就職を希望した学生の就職率(就職希望者就職率)は98.2%で、過去20年間で最高の水準となった。3年連続で前年度を上回り、前年度比0.9ポイント増だった。

なかでも人間科学部では100%を達成した。経済、法、文も、それぞれ過去20年間で最も高かった。初めて卒業生を出した。初め卒業生を出した。初め卒業生を出した。初め卒業生を出した。

学部別就職希望者就職率

(%、下段は前年度比増減、%)

学部	全体	男子	女子
経済	98.4	98.1	99.4
法	98.7	98.1	99.5
経営	98.4	98.2	98.7
商	97.8	97.7	98.1
文	97.6	98.4	97.0
ネット情報	96.6	95.2	100.0
人間科	100.0	100.0	100.0
国際コミュ	98.9	100.0	98.4
全学部	98.2	98.0	98.5

倍増の30人。東京都特別区58人(前年度比17人増)、東京都庁10人(同増)となった。

学内企業説明会が、国家公務員一般職が10人増となった。

学部別で就職が多い業種をみると(グラフ参照)、情報通信はネット

育友会就職懇談会 最新の就活動向を解説



4年次生と卒業生によるパネルディスカッション

育友会主催の就職懇談会が6月29日、神田キャンパスで開かれた。大勢の保護者、学生が参加した。

し、売り手市場と言われる現在の就職状況に関する情報を得ていた。本学卒業生でヨシモト

さまざまな企業を招いた学内企業説明会が、7月の昼休みに10号館4階のBizreach CAMPUS LOUNGE(計6回、開催)

生田キャンパスで学内企業説明会

卒業生就職率は前年と同じ84.8%だった。



OB・OG訪問プラットフォーム「Bizreach CAMPUS」に本学卒業生が登録している企業が

ポール(株)取締役管理部門副統括人事・ガバナンス部長の宮崎光太郎さん(平7経経)が採用担当者視点から、採用動向などについて具体的に話した。学生はアンテナを広く張って準備することが大切」とアドバイス。

企業は、一生涯学び続ける力があるかどうかを見極めて話を話した。

内定を得た4年次生の鈴木詩乃さん(商)、小出拓美さん(文)と昨年の卒業生、杉森慎太郎さん(経営)、島村さくらさん(国際コミュ)の4人によるパネルディスカッションでは、就職活動を始めた時

「4年次生へ」企業の採用活動は継続して行われています。選考が思うように進まない、内定がもらえないという方はキャリア形成支援までお越しください。キャリア形成支援課では、就職支援システム「Sine

参加。メーカー、商社、金融など業種は幅広く、会社説明の後は個別相談に応じた。

昼食をとりながら説明を聞けるという、学年を問わず多くの学生が参加した。経済学部3年次生は「企業の情報を知りたい」として、学内企業説明会には熱心に

「1」にて企業の求人・選考情報等を随時掲載していただきます。最新の情報を逃さないよう確認してください。また、内定獲得に伴う「オワハラ」に注意してください。オワハラだけでなく、企業の対応に疑問を感じたら、まずはキャリア形成支援課に相談してください。

「3年次生へ」夏のインターンシップや仕事体験等へ参加する方は、基本的なマナーや服装など事前のチェックを必ず行ってください。就職支援システム「Sine」の動画コンテンツや就職活動ガイドでも確認できます。参加する際は、目標を決めてPDCAサイクルを意識することがポイントです。多くの経験をして、自己の成長や今後の就職活動に役立つヒントを見つけられるよう積極的に行動してください。



ハラスメントを無くすには

パワーハラ、セクハラ、アルハラ、アカハラ、マタハラ……世の中たくさんの〇〇ハラにあふれていて、何が何だかわからない、何をしても何かしらのハラに該当しそう、もううんざり、などと思われる方も少なくないのでは。なぜこんなにたくさんハラスメントに関する言葉が増えたのでしょうか。ハラスメントの本質は「相手の嫌がることをして不快感を覚えさせる行為」です。言葉はいろいろありますが、この本質から外れないように「相手がどのように感じるだろうか」といつも考える姿勢を持つたいものです。

一方で、相手や周囲からのフィードバックを受けることも必要と考えられます。一人で相手の感じ方をどんなに想像しようと努めても、人

によって感じ方は違います。伝えてもらわないとわからないこともあります。相手の気持ちを想像する努力と、自分の気持ちを相手に伝える努力、両方の努力が必要と考えられます。場合によっては第三者の協力も必要でしょう。つまり、みんなで積極的なコミュニケーションを取ることです。

当たり前とも思える結論にたどり着くのですが、しっかりできているかという別問題です。私自身も胸を張ってできていますと言えませんし、私の発言が意図しない意味合いで誰かに伝わって不快にさせてしまう可能性を考慮するようにしています。ゴールはなく、努力を続けることが大切だと考えています。ハラスメントのない社会を目指して一緒にがんばりませんか？(キャンパス・ハラスメント対策室員 松嶋祐子)



グループワークで意見を交わす学生たち

デートDV予防啓発ワークショップ

恋人間の暴力「デートDV」について考える予備校(齋藤達哉)の共催で、経済学部・法学部(横濱市)理事長の阿部真紀さんは、「ラブハック期」のサイクルを繰り返す。暴力があるわれる周期は段々短く、内容は激しくなっていくと説明。性別関係なく誰にでも起こり得るとし、「自分ごととして捉えてほしい」と語りかけた。

架空の事例から被害者・加害者双方の気持ちを考えて。身近な問題ということもあり、学生たちは熱心に取り組んでいた。